



発行日 2012年9月10日
 発行 石巻市NPO支援オフィス
 〒986-0832 宮城県石巻市泉町3丁目1-63
 TEL/FAX 0225-23-3641
 E-mail nposhien@pluto.plala.or.jp
 URL http://www.ishinomaki-npo.jp/

□ オフィス開館時間: 月～金曜日10:00～20:00 土曜日10:00～18:00 日曜・祝日休館 □

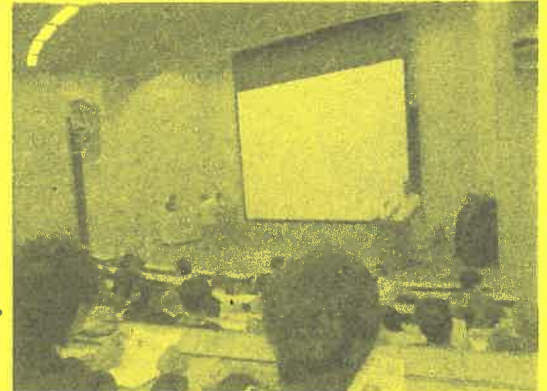


「いのちを守る森づくり」講演会

主催: NPO法人 いしのまき環境ネット

8月23日石巻専修大学森口記念館において、宮脇 昭氏の講演会が開かれ拝聴してきました。80歳を越えてなおかくしゃくと、世界各国を飛び回って森づくりに励んでいらっしゃる、森をつくった事例としてたくさんスライドが紹介されました。

興味深かった点は、同じ植樹でも松など針葉樹だけでは災害に耐えられないという話。タブ、シイ、カンなどの広葉樹を植えて2年は世話をしても、後はほったらかしのまま、どんどん成長し立派な森が形成され、それが津波や大火を防ぐという話でした。さらにその土台には震災がれきや廃材が使用できるそうです。



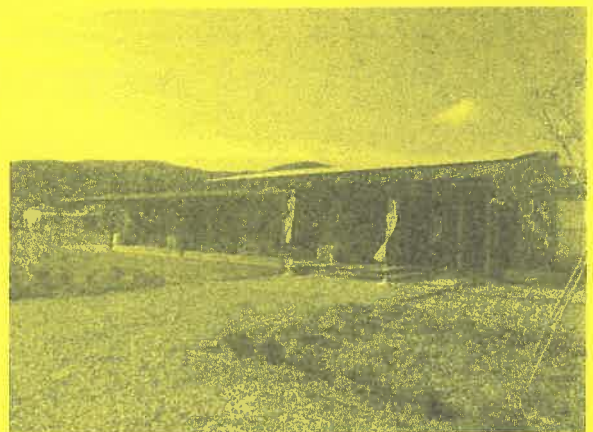
何度も「本気ならお手伝いする」と繰り返しおっしゃった言葉が残ります。「危機はチャンス」今こそ、壊滅的な打撃を受けた石巻から9000年耐える緑の防潮堤をつくり、世界に発信できたら素晴らしいなと思いました。いしのまき環境ネットでは、「いのちの森づくり」(仮称)の参加者を募っています。【連絡先】いしのまき環境ネット・事務局 TEL:090-2992-7451

鹿妻南コミュニティハウス

「心の家 ～La maison du coeur(ラメゾンデュクール)～」

石巻市鹿妻地区に新しく出来た、コミュニティハウスにお邪魔しました。このコミュニティハウス「心の家」は、日本とフランスの文化交流支援をされている「一般財団法人 フェール城桜協会」さんが、石巻市に寄贈して下さった建物です。7月に地域の集会所としてオープンしました。

木のぬくもりに溢れ、日の光が適度に差し込み、とても開放的な館内でした。廊下を挟んで、左右片方ずつ、フリースペースと貸し館となっていて、20名ほどでゆったりと過ごせそうな部屋が全部で6部屋ありました。(うち3部屋貸し館) フリースペースは時間内であれば、予約無しでどなたでも利用可能。貸し館は予約が必要で、NPO団体の会議、町内会の集まり、慰問コンサートなど、使用目的が非営利であれば利用することができます。(フリースペースも同様に、非営利でのご利用をお願いします。)



■住所: 宮城県石巻市鹿妻南二丁目6番25号

■利用時間

フリースペース: 午前9時～午後5時

貸し館: 午前9時～午後9時

■休館日: 年末年始(12月28日～1月4日)以外は、土日祝日も開館。

■利用料金(貸し館)

平成26年3月31日まで使用料無料(非営利に限る)

※無料期間中は、同一団体による利用は週2回までとします。

■お問合せ・貸し館予約先

石巻市企画部市民協働推進課 (TEL: 0225-95-1111 内線4237・4238)

受付時間: 平日・午前8時半～午後5時

※利用希望日の6ヶ月前から7日前までに予約・利用申請手続きを完了し、許可証の交付を受ける必要があります。





まちづくりNPOげんき宮城研究所 創立5周年

みちのく八雲会 創立10周年

「フォーラム2012 in 石巻」

日時:9月1日(土) 場所:石巻市・鞆ナリサワ2F会議室



◎第一部:基調講演

「GNPからGNE(人生の楽しみ)の時代へ～文化資源としての小泉八雲を考える～」

講師:島根県立大学短期大学部 小泉 凡教授(小泉八雲ひ孫)

「雪女」「耳なし芳一」「ろくろ首」などの怪談の著書で有名な小泉八雲のひ孫である小泉凡さんが、小泉八雲を文化資源として考えるというテーマの元、お話をして下さいました。文化資源とは、指定文化財や、有形・無形を問わず、各種の建造物や文学碑・民話・自然・ゆかりの人物など、地域にとって文化的魅力が高く、観光・地域振興などへの活用が期待される地域資源の事です。

◆小泉八雲プロフィール◆

本名はラフカディオ・ハーン(Lafcadio Hearn)。ギリシャ生れのイギリス人。明治期の随筆家・小説家。

1890年-米国の雑誌特派員として来日。同年、英語教師として島根県の松江中学に赴任。

1896年-東京帝国大学文科大学の英文学講師に就職。日本国籍を取得し、「小泉八雲」と名乗る。

1904年-怪奇文学作品集『怪談』を出版。この作品は八雲の妻である節子から聞いた、日本各地に伝わる伝説や幽霊話などを再話し、独自の解釈を加えて情緒豊かな文学作品としてよみがえらせたもの。



島根県松江市では、「怪談」縁の地を訪ねる「松江ゴーストツアー」が大好評だそうです。(企画・実施:NPO法人 松江ツーリズム研究会)

小泉八雲の怪談の魅力を引き出した、とてもわくわくするツアー。「怪談」を文化資源として、地域振興にしっかりと活用されているんですね。

★ツアーの紹介

【へるんコース】

八雲の曾孫、小泉凡さんの講演を聞き、郷土料理を味わって、語り部が八雲の怪談の世界にご案内します。料金:5,800円・所要時間:4時間30分

【カラココース】

地元の語り部が、静かに思いを込めて、怪談の世界にご案内します。料金:1,500円・所要時間:2時間20分

★ツアーの魅力

小泉八雲の再話した松江の怪談を体感してみましょう。松江の夜の魅力を再発見できます。闇をみつめることは自らの五感力を磨くことにもなり、灯りの溢れた現代社会に暮らす私たちには、とても新鮮なものになるでしょう。(HPより抜粋)



◎第二部:映画上映

東日本大震災ドキュメンタリー映画「PRAY FOR JAPAN～心をついに～」制作:スチュウ・リーピー監督

◆映画の紹介◆

「Pray for Japan～心をついに～」は4つの視点(家族・ボランティア・避難所・学校)から震災の悲劇を追います。それぞれ、震災で何かしらの被害を受けた人々の物語があり、彼らが悲劇と戦い、打ち勝つために前向きに生きる様子が描かれています。4つの視点に分けたことにより、この自然災害がいかにさまざまな人に大きな影響をもたらせたかが分かります。そしてそこには愛する人のため、そして故郷のために戦う本物のヒーローたちがいたのです。(HPより抜粋)

第一部・第二部と充実したプログラムで、とても貴重な時間を過ごさせて頂きました。スタッフの皆さん、凡先生、どうもありがとうございました。

☆復興ステーションのお知らせ☆

震災で大きな被害を受けてしまった石巻老舗の陶器店・旧観慶丸商店が修復され、「復興ステーション」としてオープンしています。運営をされているのは、NPO法人石巻スポーツ振興サポートセンターさん。歴史ある建築物である、旧観慶丸商店を後世に残したいとの思いから「修復再生プロジェクト」を立ち上げ、新たな場所として開館されました。



とても綺麗な館内には、仮設住宅にお住まいの方などが作られた、いろんな復興グッズが販売されています。さおり織り体験などもでき、自転車の貸出も行っているそうです。ぜひ立ち寄ってみてください。



◆復興ステーション観慶丸◆
住所:石巻市中央3丁目6-9
開店時間:10:00～18:00
定休日:毎週火曜日

【お詫びと訂正】

前号(108号)で誤りが二箇所ございました。

■表面・石巻河北ビルの掲載写真が、左右逆に掲載されてしまいました。正しくは左がかほくホール、右がヤフー石巻復興ベースです。

■裏面・「フォーラム2012 in 石巻」のお申込・お問合せの団体名が「まちづくりNPOげんきみやぎ研究所」となっていますが、正しくは「まちづくりNPOげんき宮城研究所」です。(誤・みやぎ→正・宮城)

関係者、読者の皆様に深くお詫びし、訂正させて頂きます。大変申し訳ございませんでした。